

ニュース

【令和3年12月以降の稽古について】

北星館もいよいよ稽古を再開することとなりました。とりあえず水曜日(岩屋中)だけです。

世間や稽古の状況を見て、来年からは長与での日曜日稽古も再開しようと思います。

稽古再開にあたっては以下の通りにしたいと思います。

- ・前回同様、稽古始めには畳の消毒、手指の消毒を行ってから実施する。
- ・稽古するにあたってはワクチン接種の有無は問わない。(個人の意思で接種を行わない方もいるので)
- ・マスクの有無は個人判断に任せる。

ほぼ1年から2年ぶりの稽古ですので稽古も体慣らしから初めて、あまり無理しないようにするつもりですのでよろしくお願いします。

【北星館館長メッセージ】令和3年12月から稽古再開に向けて

新型コロナ感染が急速に拡大し、世の中自粛が求められ、当館も稽古ができない状況でありました。しかし、最近になって新規感染者数が減少し、長崎県も感染者数が一桁から0という数値が続き、また自粛も解除となって、コロナ禍以前とまではいかないものの、油断はできませんが落ち着きを取り戻せる状況下となってきました。

このような状況下から判断し、当館の稽古を再開することとし、稽古ができなかった間、会員の皆様には、御理解と御協力をいただきありがとうございました。

以前のような稽古に戻るには、コロナが全く0ではないことから100%は無理かもしれませんが、工夫しながら、また楽しく愉快にそして「合気道の精神」修得へと進んで行きましょう。

コロナ禍以前は、合気道の稽古は場所が畳1畳ぐらいの僅かなスペースでもでき、広い場所がなくてもできることが利点として思われていましたが、密になることから、認識が変わったのも否めないでしょう。

当たり前になっていたものが、コロナによって見方が180度転換しています。

我々は病気になれば健康のありがたさが分かります。

何か事があることによって、今まで当たり前のことが、当たり前でない時に気づきます。

砂泊先生が「すべてのものに感謝しなさい」ということを研修会で言われたことを思い出します。

先生は「空気や水、様々な出来事に(ありがとう)という気持ちを持つことが大切である」ということを言われていました。

なかなか、すべてのものに感謝することは、忙しい現代社会の中で生活している我々にとって難しいことですが、見直すチャンスかも知れません。

稽古できる身体と環境があるだけでも感謝し、呼吸力や技の向上については、ボチボチやって行きましょう。皆様との稽古が楽しみです。よろしくお願いします。

編集後記

新型コロナの新規感染者が激減しコロナも落ち着いてのではと思ってしまう今日この頃ですが、いつまた変異種が出現し、感染拡大するのではという不安は払拭できません。

とはいえ、稽古再開の日を向かえることができたのはうれしい限りですね。

感染症対策は引き続き行う必要があるため、コロナ以前と同じ稽古スタイルには戻れないでしょうが、できる範囲で楽しく稽古していきましょう。